

2025年2月18日

立憲民主党

代表 野田 佳彦 様

全国退職女性教職員の会

会長 北村 典子

「選択的夫婦別姓」の早期実現、及び団体署名のお取り扱いの要請書

立憲民主党の日頃からのご奮闘に敬意を表します。

私たちは全国退職女性教職員の会と申します。教職員として長年働いてきました。現職時は職場の男女格差解消や女性が働き続けられる職場環境を求めて運動をしてきました。退職後も平和・ジェンダー平等などを活動方針に掲げて活動をすすめています。

これまでは結婚により改姓が必要とされ、その大部分が女性の改姓を求めるものでした。この状態を存置することは、「性」による不平等を継続するだけではなく、人権の観点からも大きな問題と考えます。2024年10月、国連の男女差別撤廃委員会は、「選択的夫婦別姓制度」の導入を含むいくつかの勧告を日本政府に対して行っています。また、国連の持続可能な開発目標（SDG's）の目標5にジェンダー平等が掲げられてもいます。日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中118位と低迷し、ジェンダー平等な社会を作ることとは喫緊の課題です。

私たちは、早期の「選択的夫婦別姓制度」の実現を求める団体署名を行いました。政府にはぜひ早急に取り組んでいただきたい内容です。貴党には、制度導入にむけたとりくみを強力に進めていただくとともに、署名の取り扱いについて政府への御取り計らいを要請いたします。

記

【要請事項】

ジェンダー平等社会をさらに進展させるためにも、「選択的夫婦別姓制度」を早期に実現すること。また、政府に対して積極的な議論がなされるよう促すこと。

(別添)「選択的夫婦別姓早期実現団体署名」

以上